

# 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成27年10月15日（木）午後7時30分～9時
会場	舟橋公民館
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）	
<p><b>① 地方創成の具体的な取り組み状況はどうなっているのでしょうか。</b></p> <p>→ 子育て少子化対策として、移住・定住の促進対策を行う。本市の基本産業である農業の後継者が出てくるための支援策を行っていく。若い人の働く場所を確保し工業団地に企業誘致を行うことは大事であるが、今後は新しい設備投資や新たなニーズに合った団地を開発するための調査を実施いたします。UIJターン者の住宅支援策を行っていく経済的支援として、奨学金の返還猶予や返還支援策を行い都会から戻ってきていただく対策も講じていきたいと考えております。</p>	
<p><b>② 自然災害や気象条件で被害が少ない本市ではあるが、想定外の災害として、寒河江ダムが決壊した場合どうなるのでしょうか。</b></p> <p>→ もし寒河江ダムが決壊したら被害はどうなるのか、市長名で照会文書を提出したが、東日本大震災でも同様のロックフィルダムは大丈夫であり崩壊することはない心配は入りませんとの回答でした。自然災害ではなく、爆弾テロでダム決壊など想定した場合も考えられるので、引き続きお願いをしていきたい。</p>	
<p><b>③ 市民課の窓口で大変親切な対応をしていただき感謝している。職員の服装がバラバラで制服とまで行かなくともそろいのジャンパーを着用するなど統一されたものが必要なのではないか。</b></p> <p>→ 今年寒河江神輿会から、2階フロアーの職員全員に一人2枚ずつオリジナルTシャツの提供があった。職員は統一したTシャツを着用し神輿のPRに努めた。情報発信は今後も続けてまいります。</p>	
<p><b>④ 企業誘致を進めるためには、工業団地から高速道路とのアクセスを良くすることが有利になるのでは。</b></p> <p>→ 長生園から工業団地へのアクセス道路の計画路線はあるが、マスタープラ</p>	

ンの見直しを行っており、計画ができるまで現在の長生園から鴨田酒店までの市道を拡幅改修して整備をしたい。工業団地への通勤経路や、子どもの通学路にもなっているので狭隘な道路の危険を優先して解消し、将来的に都市計画道路を整備していきたい。

チェリークアパークに、成人病検査センターが平成30年度まで移転改築を予定しており、現在の平塩橋は片側通行で車両がすれ違えず拡幅整備は必要不可欠であり、新平塩橋の整備が必要である。国道458号からクアパークのT字路まで整備をすると17億円かかり、そのうち11億円が橋の費用であり架け替えについてこれまで市単独で、県に対して要望してきたが首を縦に振ってくれない。工業団地への従業員数は寒河江市民が4割、西郡が2割、残り4割は村山地域からの従業員であることを考慮すれば、橋を整備することは寒河江市民のためだけではなく近隣に有益であり本市・大江町・朝日町の首長、議長、商工会、クアパーク民活エリア、平塩地区民、県会議員で新平塩橋期成同盟会を設立し早期完成を県に働き掛けていく。何とか早く実現して企業誘致につなげていきたい。

**⑤ 介護施設で高負担な施設は空いているが、安価な特養施設はまだ不足しており施設整備が必要と思われるがいかがか。**

→ 介護保険計画は3年ごとに見直しされ現在の計画は、27年度から29年までであり特養は充実していく計画である。施設入所に対する市民ニーズは大きく、施設を増やすと介護保険料は値上げせざるを得ないし兼ね合いが難しいが計画期間中、70床増やす計画である。以前は個室が多かったが多床室となる特養を整備していく。グループホームも1か所整備する予定です。

**⑥ 舟橋地区はグラウンドワークで側溝に蓋かけを行っており、毎年25m程度となかなか進まない。市の協力をいただきたい。**

→ 側溝整備事業は地区の要望が多いため、予算規模も4千万円に拡充し整備を進めてく。できるだけ要望に対応できるようにしていきたい。

**⑦ 市債残高は169億円と予算規模より多い。国の借金は1千兆円を越して後世に負担を押し付けることになるが、どの程度が適正なのか。**

→ 予算規模に対する適正な市債残高の明文化したものは無いが、実質公債費比率として借金返済に充てる一般財源の割合を示しているが18%未満が適正とされ、平成20年は19%と多かったが近年は12.1や13.2で多くなっていないと認識している。借金を返済するには貯金を取り崩して返済に充てればいわけだが、市民の要望の仕事をしなから借金を減らす工夫をしております。

⑧ 4年前舟橋地区で火災が発生し消火栓がなく苦労し全焼したことがあった。舟橋南町会では消火栓2か所のみであり、近隣の沼川放水路の水利を有効活用できないのか。また、沼川放水路は3面張りで魚が住めない。水鳥のサギが飛来しており環境に配慮した水路にできないでしょうか。

→ 沼川放水路を消防水利として活用できるか現地を確認して検討させていただきたい。沼川を魚の住める川にしていくため県にも引き続き要望していきたい。

⑨ 東北一のつつじ公園と自負しているが、大型観光バスが通れるアクセス道路の計画はどうなっているのか。

→ 長岡山全体の整備計画を作成したがその中で、つつじを増殖し道路については、成人病検査センターの先から野球場のスコアボード裏を通り観光バスも駐車できる駐車場を整備してアクセス道路の拡張整備を計画しており、28年度の完成を予定している。2期計画では山岸方面の北側から進入できる計画を進めております。

⑩ 側溝の蓋かけになっていない箇所が多くあり、グラウンドワークで対応しているが高齢者が多く、市に作業中に大きい怪我をしたらどうするのか保険に加入していただきたい旨を申し入れたら金がないと断られた。市で側溝蓋かけをしていただきたい。

→ 側溝の蓋かけについては、全域から多くの要望があり、4、5年前からグラウンドワークでご協力いただいているが、地元ではできないと意思表示していただければ全部のニーズには応えられないかもしれないが、来年、予算を充実して取り組んでいきたい。

⑪ 地域福祉推進員に対する謝礼や沼川を守る会から清掃費用として手当が支出されていたが、今年から支給されていない。事前に文書で通知いただければ対応策もあったのだが。

→ 地域福祉推進員の謝礼金や沼川を守る会についての支援について、調べて文章で報告させていただきます。

⑫ 観光面で力を入れていくためには観光地へのアクセス道路網の整備が必要である。慈恩寺、長岡山、グリバーさがえへの行き方が分からない。グリバーは行って初めて広大な水面広場に感嘆するが、行き着くまでの道路が整備されていない。中国人観光客の爆買のこともあり、観光を活用すれば税収も上がるのではないか。

→ 大型車両が観光地まで楽に入れる道路網の整備は必要である。これまで、観光はさくらんぼに頼りきっており、年間を通した観光資源の開発が必要である。慈恩寺は新規に道路を整備することは地理的に不可能であり、山寺のように下から歩いていくことも重要である。公園までの散策路を整備することも「悠久の魅力向上対策検討委員会」で検討中である。グリバーは外から見えないので、分かりづらく多くの人に来ていただける施設として道路網の整備をしていきたい。

**⑬ ふるさと納税に力を入れているようだが、半分は返礼品と聞く。返礼品は地場産業の活性化に役立つと思うが。**

→ 天童市ではふるさと納税額が10億円を越している。本市では4億円であり返礼品にはたとえば、3万円寄付者には「はえぬき」米が一俵を希望する月に3回分割して配送するのが評判が良い。寄付金のうち7割が返礼品と手数料であり、楽天ふるさと納税サイトの登録手数料もあり、経費を差し引くと3割が残る計算である。天童では2割5分と言っている。来年はさくらんぼの時期の返礼品も拡充し6億円を目指したい。慈恩寺に防犯カメラの文化財保護のためのふるさと納税を呼びかけ目標設定400万円集まらず、期間を伸ばして、はえぬき米を返礼品としたら納税額が急に伸びた。今後もPRに努めていきたい。

**⑭ 昭和51年8月6日の豪雨により舟橋、塩水一帯市立病院も水害が発生した経緯がある。今は沼川放水路が完成し水が上がることはなく安全安心のまちになったが、災害に対して再度認識を新たにする必要がある。ここに参加している方は経験者であるが、若い人は分からず風化してしまう。来年40年となり過去の水害を記憶にとどめるためにも、国交省等で映像を保管していれば当時の画像を放映したり写真を展示すれば再度、水害に対する認識が新たになるのではないか。提案です。**

→ 防災意識の啓発のため、ぜひ企画し実現できるように検討していきたい。貴重なご意見ありがとうございます。